

幼児の姿	ねらい	内容	園長印	教頭印
<p>〇園生活に慣れ始め、笑顔で登園してくる子や保護者と離れられずに泣く子がいる。</p> <p>〇所持品の始末等、「ここでのいい?」と何度も確認しに来る。</p> <p>〇いろいろな物に興味を示し、次々に遊ぶ子や遊んでいる姿を見ている子等、違いが見られる。</p>	<p>ねらい</p> <p>〇教師や友達に親しみを持ち、好きな遊びを楽しむ。</p>	<p>内容</p> <p>・教師や友達と一緒に遊ぶ。 ・教師や友達と一緒に手遊びや触れあい遊びをする。</p>		
<p>時間</p>	<p>予想される子どもの動き</p>	<p>◎教師の援助 ☆環境構成</p>		
<p>8:15</p>	<p>〇登園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の挨拶をする ・所持品の始末をする ・おたより帳にシールを貼る 	<p>☆子ども達が気持ちよく過ごせるように窓を開け、温かい雰囲気作りをする。</p> <p>◎挨拶を交わしながら、心身の状態を視診や出席状況を確認する。</p> <p>◎すぐに遊びに入ってしまう子には、持ち物の始末などを促しながら置き場所やシールを貼る位置を確認し、一人一人に応じて丁寧に援助する。</p>		
<p>9:00</p>	<p>〇主体的な遊び(室内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物のえさやり、 ・ベランダにある植物の水やり、 ・折り紙、ビーズ、ブロック、制作 ・ままと、パズル、等 <p>*それぞれの遊びには、環境図を使って姿や援助等を書く。</p>	<p>◎泣いている子は無理矢理離さず、保護者の状況に応じて側にいてもらったり、教師が寄り添ったりしながら安定を図る。</p> <p>◎遊びに入れない子、見つけられない子には、興味をもてそうな遊びに誘ったり、他の友達に目が向けられるようにしたりと、やってみたいと思えるような声かけをする。</p> <p>◎好きな遊びをするなかで、スキンシップをとりながら教師も一緒に遊び、安定して過ごせるようにする。</p> <p>◎生き物の動きや変化などで、子どもの気づきがあれば周りに知らせ、他の子も興味をもてるようにする。</p>		
<p>9:30</p>	<p>〇ふれあい遊び</p>	<p>☆生き物や植物に興味をもてたり調べたりすることができるように、表示や図鑑・絵本を用意したり、水槽を四方から観察できるような広さを確保したりする。</p> <p>◎全体で集まり、名前を呼んで友達の名前を知らせ、元気に登園している事を一緒に確認する</p> <p>◎友達や教師とふれあえるような手遊び、ゲームなどをし、安心感やクラスへの所属感、友達と一緒に過ごす楽しさを味わえるようにする。</p>		
<p>10:30</p>	<p>〇主体的な遊び(戸外)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭で遊ぶ (砂遊び、泥団子作り、三輪車、ごっこ遊び、水やり、植物観察、昆虫探し、ジャングルジム等) <p>〇主体的な遊び(室内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ままと、パズル、ブロック、描画等 <p>*それぞれの遊びには、環境図を使って姿や援助等を書く。</p>	<p>◎戸外へ出る前に、水分補給や排泄を促す。</p> <p>◎教師も一緒に体を動かし、一緒に遊ぶことの楽しさを言葉に出し、共感しながら遊ぶ。</p> <p>◎砂などの感触、水と混ぜた時に感触と一緒に楽しみながら遊ぶ。また、発見や気づきを他の子に知らせたりする。</p> <p>◎昆虫や植物などに興味をもっている子には、一緒に探したり、花や葉の香りに気づいたりしながら楽しめるようにする。</p> <p>☆遊びに必要な道具や遊具をわかりやすく配置し、興味をもったことが思い切り楽しめるようにする。</p>		
<p>11:00</p>	<p>〇片づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使った遊具や用具を片づける ・手洗い、うがいを ・服が汚れていたり、汗をかいて濡れたりしていたら着替えをする 	<p>◎一人一人が明日への期待をもって片づけられるように促し、片付いた後の気持ちよさが感じられるように言葉をかける。</p> <p>◎教師がモデルとなりながら、子どもたちと一緒に片づけや手洗い、うがいをしていく。</p> <p>◎衣服の着脱は自分でできることは促しながら、難しいところを一人一人に応じて援助する。また、上手にできた子はその姿を認めると共に他の子にも知らせ、意欲的に自らやってみようと思えるようにする。</p> <p>☆片づけの仕方や場所がわかりやすいように、視覚的に表示をしたり、配置の仕方を工夫したりする。</p>		
<p>11:45</p>	<p>〇おやつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と楽しくおやつを頂く。 ・歯磨きをする。 	<p>◎教師がおやつの準備をしている姿を見て手伝いをしたいという子がいる場合は、一緒に楽しみながら準備ができるように言葉をかける。</p> <p>◎手洗いを確認し、楽しくおやつを頂けるよう配慮する。</p> <p>◎音楽をかけながら楽しく歯磨きができるようにする。また、歯ブラシを口に入れたまま歩かないように安全面に留意する。</p>		
<p>12:15</p>	<p>〇降園前のひととき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌、手遊び、絵本の読み聞かせ等を楽しむ ・一日を振り返り、明後日以降の話聞く ・持ち物の準備、身支度を整える 	<p>◎友達と歌ったり、絵本を見たりし、みんなで過ごす楽しさを共有できるようにする。</p> <p>◎子どもたちのおもしろい遊びの様子や園々の工夫を紹介し、自信をもったり、明日はやってみようという期待をもったりできるような話し合いをする。</p> <p>◎自分の持ち物を準備するように促し、一人一人に応じて確認しながら援助し、自分でできた満足感が味わえるように言葉かけをする。</p>		
<p>反省評価</p>	<p>〇親子で順次降園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達とあいさつを交わし、安全に気を付けて降園する。 	<p>◎一人一人とスキンシップをとりながら挨拶を交わし、安全に降園できるように指導する。</p>		

ねらい：教師や友達に親しみをもち、好きな遊びを楽しむ。

内容：教師や友達と一緒に遊ぶ。教師や友達と一緒に手遊びや触れあい遊びをする。

〈ペラソタ〉

- 図・イチゴやトマト等の生長を楽しみに、其の変化を喜びながら水やりをしている。
- 図・植物に興味をもちながら、明日への期待につなげてほしい。

〈ままごと〉

- 図・自分から進んで遊ぶ子や教師と一緒に遊ぶ子、傍観している子がいる。
- 図・一緒に遊びながら教師や友達に親しみをもちてほしい。
- 図・自分から進んで一人で遊んでいる子には、その世界を大切ににし、様子を身ながら周りの子と一緒にかわれるように言葉をかける。
- 図・一人一人の様子を丁寧にみながら言葉をかけ、遊ぶ楽しさが味わえるようにする。
- 図・傍観している子は、誘いながらも無理強いせず、様子を見守る。
- 図・子どもが手にとってみたくなくなるような遊具の配置をする。
- 図・片付けがしやすいようにわかりやすく表示をする。

手洗い場

〈手洗い・うがい〉

- 図・教師が促すと自分で手洗い・うがいができる子やなかなかやりたがらない子がいる。
- 図・楽しく手洗い・うがいをし、少しずつ健康的な生活習慣が身につけてほしい。
- 図・一人一人に丁寧に言葉をかけ、手洗い・うがいを促し、できたことを認めたり気持ち良さを共感したりする。
- 図・うがいをすすめる際には、蛇口を上に向けて行うことを確認し、必要に応じて言葉をかける。また、押し足りないよう安全面にも留意する。
- 図・子どもが興味をもつような手洗い・うがいの仕方を表示をする。

〈描画〉

- 図・好きな絵を一人で描いたり、友達と一緒に描いたりして楽しんでいる。
- 図・好きな遊びを楽しみながら安定して過ごしてほしい。
- 図・一人で描いている子は、様子を見守りながら認めたり、友達の様子を伝えたりする。
- 図・描いた絵を持ち帰りたい子には、お家の人が喜びだろうと伝え、満足感をもてるようにする。
- 図・思う存分に描くことを楽しめるように材料を準備する。
- 図・描いた絵を表示できるように場所を確保する。

ピアノ

〈音楽〉

- 図・げんこつやまのたぬきさん等、知っている音楽を聴きながら手遊びを楽しむ子がいる。
- 図・知っている音楽、親しみのある音楽を聴きながら安心して楽しんでほしい。
- 図・歌ったり、手遊びしている姿を認め、教師も一緒に楽しさを共感する。
- 図・周りの子も誘いながら、友達と一緒に楽しむようにしめるようにする。
- 図・子どもが知っているような音楽を用意し、いつでも楽しめるようにカセットテープ等を準備する。
- 図・使いやすいように、音楽や使い方を表示する。

黒板

〈所持品の始末〉

- 図・自分なりに片付けをする子や座ったまま動かさない子がいる。
- 図・自分の持ち物は自分で片付けようとする気持ちが育ってほしい。
- 図・自分から進んで片付けようとしている子はその姿を認めつつ、必要に応じて援助する。
- 図・どうしているかわからない子や動こうとしない子には、その子のスペースを大切にしつつ、片付け方を丁寧に援助し、できたことを認め、自らやってみようとする気持ちになれるようにする。
- 図・自分の場所がわかるように、一人一人のロッカー等にわかりやすくシールを貼る。
- 図・カバン等の置き場所を一人一人のロッカーに表示する。

ロッカー

ロッカー

〈ブロック〉

- 図・自分から進んで思い思いに作って遊ぶ子や教師と一緒に遊ぶ子、傍観している子がいる。
- 図・一緒に遊びながら教師や友達に親しみをもちてほしい。
- 図・自分から進んで一人で遊んでいる子には、その世界を大切にしながら作ったものを認める。また、様子を見ながら周りの子と一緒にかわれるように言葉をかける。
- 図・一人一人の様子を丁寧にみながら言葉をかけ、遊ぶ楽しさが味わえるようにする。
- 図・傍観している子は、誘いながらも無理強いせず、様子を見守る。
- 図・一人一人の子どもが思い切り遊べるように、量とスペースを十分に確保する。
- 図・シートを敷いて、座って遊ぶことができるようにする。
- 図・登園後すぐに遊ぶようになるような遊具の配置をする。
- 図・片付けがしやすいようにわかりやすく表示をする。

〈バスル〉

- 図・自分の好きなバスルを一人、または教師と一緒に楽しんで遊んでいる。できるとうれしそうに教師に見せに来る子もいる。
- 図・好きな遊びを楽しみながら安定して過ごしてほしい。
- 図・一人で黙々と楽しんでいる子は、様子を身守りながら認めたり、難しそうにしている場面で手伝ったりする。
- 図・様子を見ながら、他の子と一緒にしてみようように誘う。
- 図・一人で取り組みたい気持ちや大切にしながら、落ち着いてできるように机の配置を壁に向かわせたり、少人数用い場所に区切ってコーナーを作ったりする。

日の指導計画 【4歳児】 平成 29 年 4 月 26 日 (水) ○○組 ○○人 担任：○○ ○○○

幼児の姿	ねらい 内容	ねらい 内容	園長印 教頭印
時間	○予想される幼児の活動の展開	□環境構成 ◎援助と配慮	
8:15	○登園 ・朝の挨拶をする ・所持品の始末をする ・おたより帳にシールを貼る	◎笑顔で挨拶を交わし、一日を気持ちよく過ごせるように心がける。 □持ち物の片づけが自分で出来るように黒板やロッカーの近くに片づけ方の手順を表示する。 ◎片付け方がわからない子、不安そうにしている子へは、手を添えながら一緒に行ったり、シールを貼る位置を確認したりし、丁寧に関わる。	
8:50	○朝のひとつき	◎朝のひとつきで集まり、名前を呼んで友達の名前を知らせ、元気に登園していることを一緒に確認する。 ◎友達や教師と触れあえるような手遊び、ゲームなどをし、安心感やクラスへの所属感、友達と一緒に過ごす楽しさを味わえるようにする。	
9:15	○好きな遊び 戸外 ・砂場 ・固定遊具 ・おにごっこ ・うさぎとの触れ合い等 室内 ・踊り ・ままごと ・制作 ・ブロック ・粘土 ・お絵かき ・折り紙 ・パズル 等	◎戸外へ出る前に、水分補給や排泄を促す。 ◎遊びが見つけれない子へは、興味がありそうな遊びに誘いかけたり、一緒に遊んだりして遊びのきっかけを作る。 ◎一人一人にスキンシップをとりながら、安心して過ごせるようにする。 □遊びに必要な道具や遊具を分かりやすく配置し、興味を持ったことが思い切り楽しめるようにする。 ◎教師も一緒に戸外で体を動かし、子ども同士も十分に関わりが持てるようにする。 ◎遊具や用具の使い方を知らせ、安全に遊べるようにする。 ※主体的な(好きな)遊びは別紙参照	
10:30	○片付け(生活の場を整える) ・使った遊具や道具を片付ける ・手洗い、うがいを ・必要に応じて着替えをする	◎教師がモデルとなりながら、子どもたちと一緒に片付けや手洗い、うがいをしていく。 □片付ける場所がわかりやすいように、標示の配置を工夫する。 □明日も使えるように生活の場を整える。	
11:00	○帰りのひとつき ・歌 ・手遊び ・絵本の読み聞かせ ・今日の遊びの振り返り ・明日の話	◎もっと遊びたくて、なかなか帰りのひとつきに進んで集まれない子には、その気持ちに寄り添いながら明日も遊べることを伝え、集まりへ誘う。 ◎手遊びをしたり、歌を歌ったりしながら学級みんなで過ごす楽しさを味わえるようにする。 ◎子どもたちが興味をもてるような絵本を読み、絵本の世界が楽しめるようにする。	
11:30	○降園 ・お迎えの子は親子で順次降園 ・通園バスの子はコース毎のバスに 乗車 ・預かり保育の子は預かりの部屋へ	◎一人一人の降園コース(バス、迎え、預かり組)を幼児と一緒に確認し、安心して降園できるようにする。 ◎一人一人と笑顔で挨拶を交わし、明日への期待がもてるようにする。	
反省 評価			

環境図【4歳児】

予想される幼児の活動の展開

○ 幼児の姿

□ 環境構成

◎ 援助と配慮

- 好きな遊びをする。
- ・ 砂場 (戸外)
- ・ 固定遊具
- ・ おにごっこ
- ・ ウサギに触れる

- ・ (室内)
- ・ パズル
- ・ ブロック
- ・ 粘土
- ・ お絵描き
- ・ ままごと
- ・ 制作
- ・ 踊り

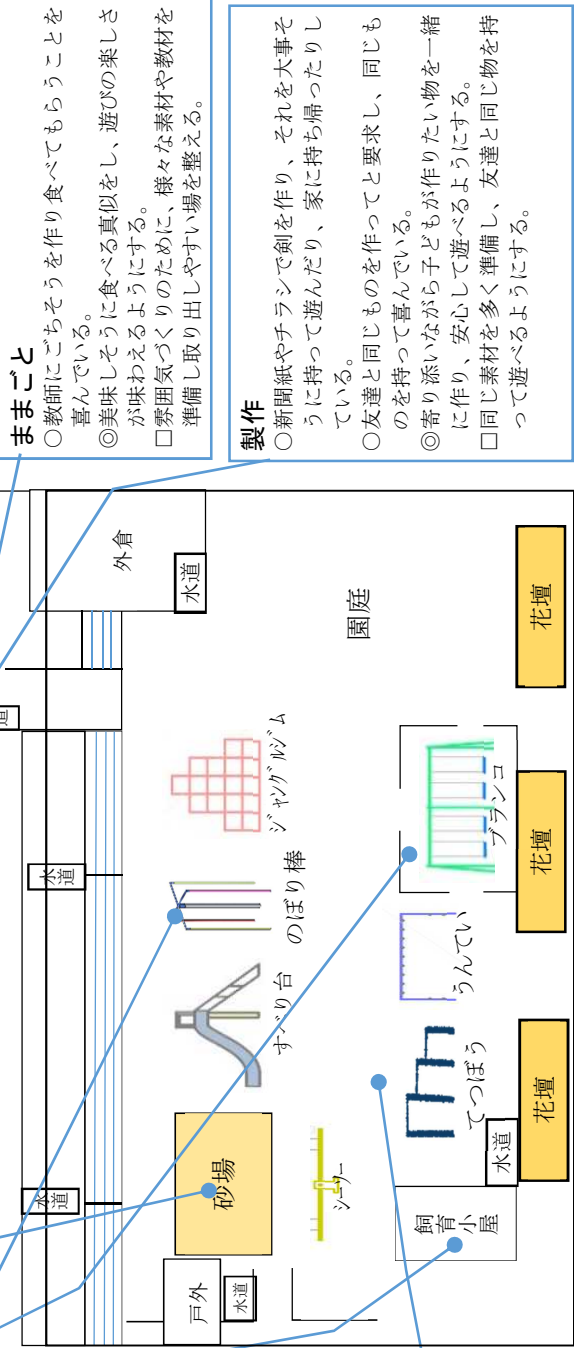
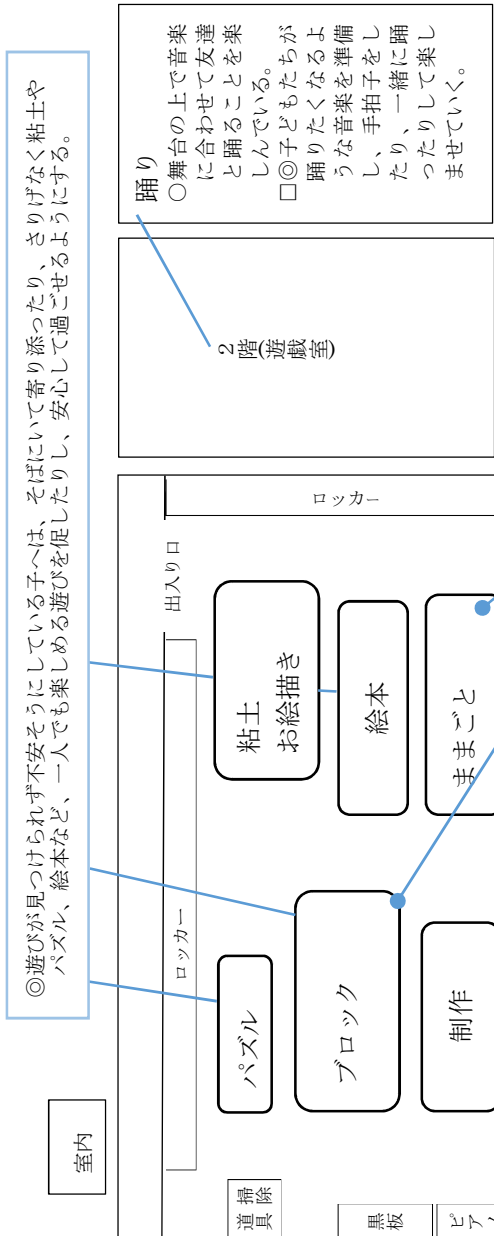
砂場
 ○ 一人で繰り返し砂を手に乗せたり、友達と山を作ったりして、砂の感触を楽しんでいる。
 ◎ 一緒に山やごちそう作りをすることで、周りで遊んでいる子同士が関わられるようきっかけ作りをする。

□ 小さいテーブルや台になる物を置くことで、繰り返し型抜きをしたり、団子を並べたりするなど、始めたことを十分に楽しめるようにしていく。

固定遊具
 ○ フランコをうまくこげず、教師に押ししてもらったり喜んで乗っている子がいる。
 ○ ジャングルジムでは、怖がって登れない子、一番上まで登って達成感を味わっている子がいる。
 ◎ 一人一人の取り組みを見守り、必要に応じて支えるなど、戸外で遊ぶ楽しさを味わえるようにする。

ウサギに触れる
 ○ フェンス越しにうさぎを覗き、その場にいることで安心して見ている姿が見られる。
 ○ 家庭からもってきたエサをあげることを楽しんでいる。
 ◎ 子どもの気持ちに寄り添い、一緒にうさぎを見たり、エサをあげたりして、安心して遊べるようにする。
 □ 興味をもった子が自由にエサを与えられるよう、野菜などを準備しておく。

おにごっこ
 ○ 教師や友達を誘って一緒に関わって遊ぶことを楽しんでいる。
 ◎ 一緒に遊び歩くことで、子どもたちと走る心地よさを共有し、教師や友達に親しみを持てるようにする。



各活動が「10の姿」のどこにあてはまるのかを話し合い、様々な活動場面に「10の姿」が入っていることを確認していく。

評価

〇〇組 男〇〇名、女〇〇名、計〇〇名 担任：〇〇〇〇〇

<p>幼児の姿</p>	<p>○担任に親しみを持ち始め、自らあいさつをしたり、遊びに誘ったりすることがある。 ○同じ遊びをしている新しい友達とも関わるようになってきている。 ○クラスでの触れ合い遊びをする中で、緊張がほぐれて笑顔で楽しむ姿が見られる。</p>	<p>園長印</p>	
<p>ねらい</p>	<p>○クラスでの活動を通して、新しい友達に親しむ。</p>	<p>内容 ・新しい友達と関わり、気の合う友達を見つける。 ・母の日のプレゼント作りをする。</p>	<p>教頭印</p>
<p>時間</p>	<p>幼児の活動</p>	<p>□環境構成 ◎教師の援助</p>	
<p>8:00</p>	<p>○登園する ・挨拶をする ・名札を付ける ・持ち物の始末をする ・朝の活動をする ○好きな遊びをする（戸外遊び） ・砂遊び・虫採り・固定遊具 ・ありんこみち ○片付けをする ・身体を清潔にし、着替える</p>	<p>□幼児と一緒に室内換気をすることで、一日の始まりを気持ちよく迎えられるようにする。 ◎子ども一人一人と朝の挨拶を交わし、健康状態を把握する。 ◎帽子をかぶることや上履きを履くことの必要性を再確認し、その都度、気づかせるような言葉かけをする。 ◎きれいになった喜びが味わえるよう「気持ちよくなったね」等と言葉かけをし、一人一人を認めるようにする。 □遊びに必要な遊具や用具の準備、場の設定をし、幼児のつぶやきや思いに共感し、相談しながら幼児と共に環境構成する。</p> <p>ありんこみちって知っている？先生と一緒にやってみようか？</p>	
<p>10:00</p>	<p>○室内で好きな遊びをする ・母の日の製作 ・ままごと・おりがみ ・パズル・ブロック ○片づけをする ・遊んだ後の道具を元の場所に戻し、掃除する</p>	<p>◎遊びに入れない子は、教師も一緒になって遊び、友達との仲間入りができるように配慮する。 ◎遊んだ後の片付けは、明日も楽しく遊べるように教師も一緒に片付けをし、片付け方に気づくようにする。 ◎手足を洗ったり着替えをしたり、衣服の始末が丁寧にできるよう十分に時間を確保する。また、周りの様子を見て行動ができるよう言葉かけをする。 □遊びが充実できるように、場の設定や用具の準備をする。</p>	
<p>11:30</p>	<p>○給食準備をする ・手洗いをする ・テーブル、イスを準備する ・当番活動をする ○給食を会食する ・メニューを発表する ・挨拶をする ・おかわりをする ○片付けをする ・食器、食缶を片付ける ・テーブルを片付ける ○歯磨きをする ○掃除をする ・掃き掃除・雑巾がけ</p>	<p>◎ままごとコーナーや製作遊びでは、引き続きイメージに合った材料を選べるよう援助したり、実現していく方法を一緒に考えたりする。 ◎協力してテーブルや椅子を準備できるように、頑張っている幼児を全体の場で称賛し、他児の刺激とする。 ◎給食準備を進んでやろうとする思いを受け止めて、教師も一緒に配膳をする。 ◎個に応じて食事の量を調整し、食べる喜びが味わえるよう配慮する。 ◎楽しい雰囲気の中でマナーを守って、美味しく会食ができるようにする。 ◎全員が歯磨きに取り組めるよう見守り、歯ブラシやコップの片付け方を確認し、歯磨きが済んでいない幼児には気づけるような言葉かけをする。 ◎雑巾がけはみんなが協力してやる。また、雑巾の絞り方</p>	
<p>13:30</p>	<p>○先生の周りで集まる ・歌を歌ったり、リズム遊びや手遊びなどを楽しんだりする ・友達や先生の話の聞いたり、話したりする</p>	<p>◎楽しむことや気づいたことに共感し、明日に期待が持てるようにする。 ◎安全に降園できるように、一人一人確認をする。</p> <p>〇〇さんはこんなことをしていたね。先生も一緒に遊んで楽しかったな。明日もやってみようか？</p>	
<p>14:00</p>	<p>○降園する</p>	<p>◎安全に降園できるように、一人一人確認をする。</p>	
<p>反省</p>			

環境図【5歳児】

